



日本赤十字社

有功やまぐち

第2号

2014年3月発行



第1回山口県赤十字救急法競技大会にて、当会から寄贈した心肺蘇生トレーニングキット「あっぱくん」で、ウォーミングアップに臨む出場者。本番の前に少し緊張気味・・・？

会長挨拶

山口県日赤紺綬有功会 会長

久山 歌子



会員の皆様には、日頃から当会の運営につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。皆様のおかげをもちまして、当会は今年も様々な事業を実施し、赤十字の支援団体として貢献することができました。

さて、昨年は、山口県を襲った大雨災害など日本各地でゲリラ豪雨や大型台風による被害が相次ぎ、国外でもフィリピンをかつてない規模の台風が襲い、多くの尊い命が失われております。

被害にあわれました方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

こうした状況下において日本赤十字社は、国際赤十字の一員として「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ため、国の内外を問わず、苦しんでいる人々に寄り添い、その支えとなって日々活動されています。

当会といたしましては、このような赤十字の人的活動を支えるべく、赤十字活動の普及促進等を図り、より一層の力添えができればと考えております。会員の皆様方におかれましても、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

平成25年度の主な事業

山口県日赤紺綬有功会総会を開催

平成25年7月24日(水)山口市翠山荘にて、平成25年度山口県日赤紺綬有功会総会を開催いたしました。総会では、平成24年度の事業報告、決算報告、平成25年度の事業計画、予算について、審議され承認されました。

日赤紺綬・有功会会長協議会総会に出席

平成25年10月17日(木)18日(金)仙台市の「仙台国際ホテル」にて、平成25年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会が開催され、山本副会長、支部職員が出席しました。

総会では、平成24年度の事業報告、決算報告、平成25年度の収支中間報告、役員の変更について、承認され、伊達家三十四世・仙台伊達家十八代当主の伊達 泰宗 さんによる「独眼竜政宗最後の決戦」の講演も行われました。



日赤山口県支部への支援事業

平成25年度事業計画に基づき、日赤山口県支部への支援として、心肺蘇生トレーニングキット「あっぱくん」を100個贈呈、「赤十字紙芝居コンクール」、海外たすけあいにも協力しました。



寄贈 山口県日赤紺綬有功会

当会と山口県支部では、赤十字創設150年を記念して、アンリー・デュナンに始まる赤十字の歴史や人道主義、アンリー・デュナンが拓めたいと思った「思いやりの心」をこどもたちに分かりやすく伝えていくため、また、紙芝居の作成過程で作成者自身が赤十字の歴史に触れ、赤十字への関心・理解を深めていただくことを目的に、平成25年10月1日から26年1月31日まで①歴史部門②創作物語部門の2部門で「赤十字紙芝居」を募集し、県内の中高校などから、9作品の応募をいただきました。

2月には、久山会長、主に山口大学生が所属する山口県青年赤十字奉仕団、支部職員にて、1次審査を行い、3月18日に、山口こどもの文化研究会会長である向谷喜久江様など3名により、2次審査が行われました。

①歴史部門

【最優秀賞】「赤十字のはじまり」(宇部商業高校JRC部)

【優秀賞】「赤十字の父 アンリー・デュナン」

(田布施中学校美術部)

②創作物語部門

【最優秀賞】「ぼん太」(岩崎祥子)

【優秀賞】「つながるきもち」(徳山高校JRC部)

「だん五郎のフシギなはっぱ」(長谷川忠)

【アンリー・デュナン賞】

「おかしなせかい」

(防府西高校JRC部)

「あやちゃんともず」

(田中英理子&春野ことり)

「国境を越えた贈り物」

(萩高校JRC部)

「やさい」

(防府高校JRC部)



「あっぱくん」は、平成26年2月22日に開催されました「第1回山口県赤十字救急法競技大会」の出場者が、競技を行う前に心肺蘇生の練習をするために整備されました。「あっぱくん」の心臓に見立てたハート型クッションを正確に押すと「キュッキュ」と音がし、競技前のウォーミングアップでは、出場25チームが一斉に押す音が会場内に響き、出場者の気合いが伝わってきました。

「あっぱくん」は今後、支部が行っている救急法等の講習会や青少年赤十字加盟校で活用していきます。

今後、各部門の最優秀作品などをもとに、赤十字ボランティア等が県内の幼稚園・保育園・小学校等で上演していきます。

全国赤十字大会開催

平成25年5月8日、「全国赤十字大会」が日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、宮妃殿下のご臨席の下、東京都「明治神宮会館」において開催されました。全国から赤十字関係者約1600名が参加し、山口県からは当会からの1名を含む21名が参加しました。

大会では、赤十字活動に顕著な功勞のあった株式会社西京銀行などの個人・団体に対し名誉総裁から有功章が、日本赤十字社社長からは社長表彰状が贈られました。

また、実践活動として、東日本大震災の被災児童を招いたサマーキャンプや海外の青少年赤十字メンバーとの交流で学んだことなどが、岩手県学生赤十字奉仕団員や大阪府高等学校青少年赤十字メンバーからそれぞれ発表されました。

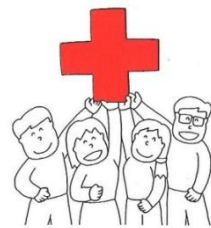
大会第二部は、歌手の森山良子さんの伸びやかで美しい歌声が会場内に響き、平和への思いを込めた「さとうきび畑」が披露されると参加者は静かに聞き入り、曲が終わると会場は大きな拍手に包まれ、盛会のうちに閉会となりました。



仲間づくり運動にご協力をお願いします

当会は、日赤山口県支部の活動に協力し、赤十字の人道・博愛の精神の普及とその事業の推進に奉仕することを目的として、活動しております。

つきましては、本年も5月の赤十字運動月間を中心に赤十字事業を支援する輪を広げるために、社資納入の勧奨と、一人でも多くの方が有功会へ入会いただきますよう勧誘をお願いします。



特集～準会員制度スタート～

平成25年度から当会では、より多くの方に当会へ加入いただけるよう、「準会員制度」を設けました。

これまでの
加入条件

「社資功勞」または「献血功勞」により、日本赤十字社からの表彰である「有功章」を受章された個人・法人で当会の趣旨にご賛同いただいていること

平成25年度
から

次のとおり「準会員」と「本会員」の2通りの入会方法にしました。

準会員

当会の趣旨にご賛同いただき、有功章受章につながる20万円以上の社資を今後、分割で納入していただくことについてお申し出いただいた個人・法人

本会員

これまでの加入条件により、加入していただく個人・法人

準会員であった方が、分割納入により有功章を受章され、引き続きご加入いただく個人・法人

準会員と本会員の違い

- ・加入条件(上記のとおり)
- ・当会への会費の納入や総会等への行事の参加は同じ扱いですが、準会員は当会の役員になることはできません。(準会員から本会員になると、役員に選ばれることがあります)

(参考)～社資功勞による有功章とは～

日本赤十字社へ一定額以上の社資(活動資金)をご寄託いただいた場合、有功章が贈られます。

当会の入会資格となる有功章の受章は、銀色有功章なら社資の金額が20万円以上、金色有功章なら50万円以上の金額(いずれも一時又は分割して)に達した個人・法人となっております。

長寿のお慶びや全快祝い、金・銀婚式記念、遺贈、香典返し、法人創立記念祝賀会などの際に、ご寄付いただき、社会貢献される事例もあり、これらも20万円以上の場合は、有功章が贈られます。

なお、日赤への社資に対しては、税制上の優遇措置があります。

支部便り

平成25年度に山口県支部で行った主な事業を紹介します。これらの事業は、有功会員様をはじめ、県民の皆様から寄せられた活動資金によって行っています。

平成25年7月28日大雨災害活動報告

平成25年7月28日の未明から、萩市、山口市、阿武町を中心に大きな被害をもたらした豪雨災害に際し、山口県支部では、直ちに救援物資を搬送し、7月31日、8月1日には医療救護班の派遣等を行いました。医療救護班は、医師1人・看護師3人・事務要員2人の計6人で構成され、被災地に到着次第、救護所の開設や戸別訪問等により、傷病者の手当、健康相談・指導等の救護活動にあたります。

義援金の受付は、8月7日から実施し、山口県支部に寄せられた義援金は、2月末日現在で、7310万4833円となり、被災市町を通じて、全額被災者に届けられています。



被災地に届けるため救援物資を車両に積み込む職員



被災地にて、ニーズ調査を行う職員と赤十字防災ボランティア



土砂の除去など災害ボランティア活動を行う青少年赤十字加盟校の生徒たち

人々に寄り添い続けて一世紀半

2013年は、スイス人アンリー・デュナンが「戦争で傷ついた人々を敵味方の区別なく救護する」という着想を得て、赤十字を創設してから150年にあたります。世界中で助けを必要とする人々に寄り添い続ける赤十字の姿を知っていただくため、

「赤十字150年写真展」を山口県は中四国で唯一開催しました。観覧者からは、「赤十字の歴史の重みが分かった」など感想をいただきました。



「赤十字サポーター認定制度」スタート

昨年8月から開始しました「赤十字サポーター認定制度」は、山口県支部が実施する災害救護活動や救急法等講習会の事業を活動資金や事業活動に関連した支援協力内容によりサポートしていただく企業団体等を「赤十字サポーター」として認定する制度です。現在、株式会社西京銀行と株式会社丸久の2社にご登録いただいています。



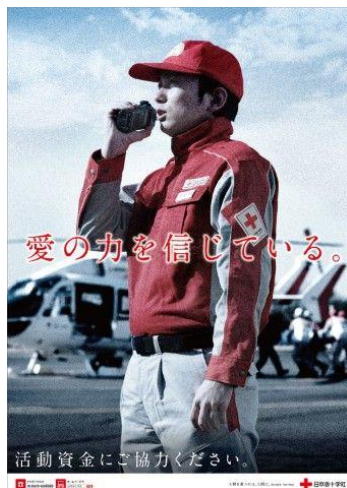
株式会社西京銀行 様



株式会社丸久 様

5月は赤十字運動月間です

今年も「赤十字運動月間」である5月を中心に、赤十字の活動資金となる社資を募集いたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



平成26年度
赤十字ポスター

寄稿のお願い

会員の皆様と共につくる会報を目指しています。会員の皆様からのご寄稿をお願いいたします。赤十字事業への思い、俳句、短歌、詩、エッセー、写真、絵などなど、ぜひお寄せください。

また、会報や当会の活動に対するご意見、ご要望などをお聞かせください。

発行元

山口県日赤紺綬有功会事務局
山口市野田172番地5 TEL083-922-0102
日本赤十字社山口県支部内